

事業所名		名古屋中央療育センター				公表日	令和 8年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室は狭いため全員が集まって過ごせる広いホールがあればいい。</li> <li>・クラスによっては、遊戯室をクラスの部屋としている部分がある。</li> <li>・全体で行事等を行う部屋(遊戯室)が無い</li> <li>・比較的活発な子が多いクラス、低年齢児や自立歩行が難しい子が多いため、クラス全体としては移動ペースが近くなるよう等、クラス毎に構成人員に工夫が感じられる。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で助け合っている。</li> <li>・職員の休暇や研修等がある時は、他のクラスから職員等を調整している。</li> <li>・1歳児～5歳児のクラスがあるが、保育士は一人配置のため、保育士は担任を持たず、全クラスに関われるようにしている。</li> <li>・取り組み時と違って特に食事時は、各児に必要な介助方法が変わってくるので人手が必要。フリーの保育士を予め配置する等の工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーで動ける職員が数人いて手厚い人数だとは思いますが、さらに人手が増えると助かる面もある。</li> <li>・職員の欠がある。</li> <li>・職員が休み場合と休んだ場合で職員配置を工夫して対応している。しかし、療育が出来る体制では無い時もある。もう少し職員数が欲しい。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイルカーペットを敷いているが、床がコンクリートであるため、子どもたちが転倒した際にはケガをする恐れがある。ケガにつながらないように床に緩衝材のようなものを敷いていくとよい。</li> <li>・玩具の倉庫があるが、保育室との仕切りがカーテンなため、子どもたちが気になる。</li> <li>・非常時には館内放送で知らせるシステムにできると良い。検討する余地がある。</li> <li>・年明け以降や年度後半の避難訓練は、抜き打ちで行う機会も必要なのではないか。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日清掃をおこなっており、心地よい。</li> <li>・遊びや活動に合わせたおもちゃや室内の空間作りなど子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう心がけている。</li> <li>・各クラスに手洗いがついており、汚れた際には即座に洗い流すことができる。</li> <li>・ケガや事故防止のため、不必要な物は出さないようにしている。子どもの視界に入らないように工夫している。</li> <li>・子どもの降園後毎日丁寧に清掃している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台拭きタオルは登園前の朝に準備しているが、雑菌の繁殖等配慮すべきことがある。</li> <li>・他児が使用した後の体温計は都度アルコール消毒をして、他児への感染症予防に努めるべきである。</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広いお部屋の管理体制が整っている。</li> <li>・母子控室やボランティア室など常設しており、必要に応じて利用することができる。</li> <li>・遊戯室やわくわく、まきばの部屋等を、他クラスとの兼ね合いを見ながら使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢クラスのため午睡の有無があり、ゆっくり午睡ができる部屋があるといい。</li> </ul>	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、毎週、行っている。</li> <li>・クラス担任を通じて毎月の振り返りと次月の目標決めをしている。行事のことや利用児の登園状況に応じてプログラム内容を工夫している。</li> <li>・気付いたことは、その都度正規職員に伝え、共に改善できるよう努めている。</li> </ul>			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のさり気ない会話の中でも行う。</li> <li>・保護者には任意で用紙記入をしてもらっている。改善内容があれば職員会議にかけ、議論し、会計年度職員も把握、共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け評価表の内容を職員それぞれが精査し、指摘のある改善について検討していく場を会議の議題として設定していく必要がある。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に職員の面談等を行なっている。</li> <li>・クラス内での話し合い等、その都度話や意見を伝える機会がある。</li> <li>・各クラスでの状況や処遇上変更等がある場合には、職員同士で内容を共有している。</li> <li>・正規職員に伝えたり、必要に応じて上司にも相談できる体制を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司に現場の意見を正しく把握して頂く機会は十分で無い。改善したい点はたくさんあるが、実践できていない現状がある。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は行っていない。今後必要性があるときには、積極的にを行い、業務改善に活かしていく。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修等は内容に応じて参加している。一方で、職員それぞれが課題を認識し、それに対して内部の研修は行われていない。必要に応じて職員が講師になって内部研修を行い、職員の資質の向上につなげていきたい。</li> <li>・研修は自分で見つけている。職場内でも実施したいが時間が確保できない問題がある。</li> <li>・回覧で回ってくる研修は、会計年度職員も等しく受けられるのかが分かりにくい。</li> <li>・現場を離れられない状況から研修にはなかなか参加できていない。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターとしての支援プログラムはHP上に記載されている。</li> </ul>	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状に合わせた様式になるように、フォーマットは検討し続けている。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の原案をもとに担任同士で課題の整理や支援方法等の検討を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス職員間では共通理解できている。関わる職員全員の共通理解ができているかは不明。相談支援専門員や訓練士も含めて、全員参加のカンファレンスができるとうい。</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を欠かさずに行っている。</li> <li>・担当のクラスだけでなく、どのクラスの分も確認し共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿った支援になっているのかを常日頃から意識し、子どもや保護者に支援していく姿勢を継続していく必要がある。</li> </ul>
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を行った日の記録を行なっている。</li> <li>・常にアセスメントを行ないながら日々を過ごしている。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援や移行支援、地域連携のねらいや支援方法が固定化されやすく、子どもの状況に応じてより具体的な支援内容に改善していく必要がある。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月クラス間で振り返りと次月の内容を検討している。</li> <li>・毎月必ずクラス職員で立案している。クラス担任では無い保育士にも意見を求め、障害特性に合わせるとともに年齢相応の活動になるように配慮している。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような療育内容であっても、個々に応じた対応や支援方法を検討している。</li> <li>・子どもたちの興味を引くように日々工夫をしている。臨機応変に活動を変更している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力しつつも過去の活動を繰り返すことも多い。難聴児へのプログラムとして、改訂の難しさもある。</li> </ul>
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス療育と個別訓練を実施している。</li> </ul>	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	1	・活動や流れや配置等確認をし、現場内でも声をかけあいながら適切に支援できるように工夫している。クラスの出席に応じて支援方法を変更したり、柔軟に対応している。 ・準備をしながらでも、必ず確認し、振り返りをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	4	・活動や子どもの姿で気になった点やよかった点、反省点など常に伝えあうようになっている。 ・職員がそろっての振り返りはなかなかできないが、気づいた点や共有すべき内容は時間をとって話し合いをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0	・支援の記録は徹底している。それに応じて支援内容の改善や次回の取り組み等も検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	1	・モニタリングは主に児発管が中心になって行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	0	・会議開催の依頼があった際には、当時の担当職員や児発管が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	3		・必要に応じて進路先への情報提供等を行っている。今後は、情報提供だけでなく、顔を合わせた連携の仕方も検討していくとよい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	2	・並行利用している児が多く在籍しており、並行利用先の様子も保護者を通して確認している。必要があれば直接連絡を取ることもある。	・並行利用している保育園や幼稚園、事業所等は数多くあるが、直接的な情報共有などは行っていない。現場だけの姿だけでなく、生活全体にも目を向けて、他に通園しているところや家庭状況等もとらえを深め、子どもや保護者の全体像をとらえていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	0		・書面を通じて、保護者の方から学校等に情報提供をしている。相互理解につながるかわからないが、上記質問と同様に顔を合わせた連携も必要に感じる。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	4	・他都市の難聴児施設と連携を取ることはある。	・合同研修等や職種に応じた連絡会等に参加し、形式的な連携にとどまっている。センターの役割として、積極的に他事業所との関係づくりが必須であると思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	3	・外部研修には積極的に参加している。	・積極的ではないと感じる。 ・内部での研修はあるが、外部研修には参加できていない。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	11		・自立支援協議会には参加できていない。児童発達支援センターの立場として地域の事業所等とも情報交換していくために外部とのつながりを積極的に進めていく必要性を感じる。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	5	・各クラスごとで地域の保育園と年に数回交流保育を行っている。	・利用児が並行通園しているため、園としての機会は設けていない。 ・一部のクラスを除いて、保育園や幼稚園との並行通園をしていることや、市外利用者がいる特性も含めて、地域交流ができていない。同じ地域の学年齢の子どもたちとの交流していくことも療育支援の一つととらえながら、積極的な地域交流を行っていく必要性を感じる。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のノートや送迎時、親子デイの時など園での姿や様子を伝え、家庭での話を聞きながら思いを共有できるようにしている。</li> <li>・親子登園のため、保護者と話す機会はたくさんある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園の特性を活かし、都度現場の中で保護者にフィードバックできていると思う。保護者同士の交流を深め、横のつながりをつくっていくことは課題である。</li> </ul>
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1度設けているかいないか程度である。</li> <li>・家族支援プログラムとして保護者参観を位置付けているが、恒常的に続けていく機会が少ない。一部のクラスでは学習会を行っていたりするが、職員が講師になって保護者向けの研修会を実施したり、保護者が学習できたりする機会をセンター全体で行い、改善できたらいい。</li> </ul>
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約説明や年度当初に改めて説明をしている。</li> <li>・現場レベルで必要だと思うことを行なっている。</li> </ul>	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人懇談会など個別で話ができる時間や機会を設けている。</li> <li>・児発管による聞き取りを行なっている。</li> </ul>	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく専門的な用語を使用しない形で、保護者にわかりやすく説明している。専門用語を使用する際には、用語の説明を加える工夫をしている。</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との話は、即座に正規職員に報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の何気ない一言から相談につながることもあるため、常に保護者の状況をとらえていく必要がある。必要に応じて個人懇談や家庭訪問等の支援を検討していく。</li> </ul>
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部のクラスには保護者会活動があるが、担当クラスでは行われていない。</li> <li>・保護者会活動までいなくても交流会を積極的に実施して、保護者同士横のつながりを深めていきたい。</li> </ul>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談がある場合には、その都度対応してきている。</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のおたよりや行事等のお知らせは紙面に加え、きずなネットを利用して保護者の方に配信している。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス内で個人情報が他の保護者に漏れないように十分に配慮して対応している。</li> <li>・記録用紙の返却や保管ファイルへの綴じ込み時には必ず、名前を確認しながら行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物入れ間違い等、個々がしっかり確認し声をかけあうなどダブルチェックに留意する。</li> </ul>
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害や外国籍の保護者の方には、必要に応じて手話やメールでのやりとり、文書にルビを振る等の対応をしている。</li> <li>・制度の話や行事等の時には手話通訳の派遣を依頼している。日常も職員が手話や筆談でコミュニケーションを取っている。</li> <li>・いつでも話し掛けやすい雰囲気や居るよう心掛けている。</li> </ul>	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの構造や性質上、地域に開かれた運営は行えていない。今後の検討課題とした。</li> </ul>

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれ研修や訓練などに参加し、気づいた点や改善点などを話し合う場がある。</li> <li>保健師等による研修が定期的に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の防災訓練は実施しているが、マニュアル等の周知までには至っていない。職員も含め各種マニュアルの周知は徹底させる。</li> <li>訓練は行なっているが、現実的で正しい対応かどうか不安になることもある。</li> </ul>
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練は毎月行っている。職員としてBCPの内容まで把握しきれていない部分があるため、周知させていく必要がある。</li> </ul>
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師を窓口にしながら状況把握等を行っている。必要な場合は担任と情報共有している。</li> <li>保護者同行なため、保護者に対応してもらえる。</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーのある子に対しては職員全員が把握し、状況や対応を共有している。</li> </ul>	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練を行っているが、職員として安全計画の内容まで熟知できている現状ではない。職員全体で周知していく必要性を感じる。</li> </ul>
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に親子登園のクラスであるため、安全確保については保護者の方とともに行っている。</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧等で情報共有し、危険がないようさまざまな面で気をつけるよう配慮している。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止に関する研修会に参加している。</li> <li>職員同士で意識するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前は人権教育等の研修を受けたことがあるが、ここ最近はないため、研修等検討していきたい。</li> </ul>
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束を行う際には、事前に保護者とその内容を確認し、同意書をいただいている。</li> <li>身体拘束を行なった場合については、その都度保護者に説明するように努力している。</li> </ul>		